

# 則子・ティッドボール インタビュー

ジェス・リードと則子・ティッドボールの二人展、「2 x Lens」が5月9日よりVisual Space (2075 Alberta Street, Vancouver)にて開催される。数年前には一眼レフの使い方もままならなかった彼女を動かした写真の魅力とは、そして今回展覧会に至るまでの道のりについて話を伺った。

則子さんは1990年にカナダに移住し、その後バンクーバーの日本法人で10年以上勤務をした。退職をした後、主婦をしていたが、特に趣味はなかったとのこと。写真を始めるきっかけになったのは、由起子・オンリーさんのスタジオでのポートレート撮影。「ポートレイトを由起子・オンリーさんに撮っていただいた際に写真教室をされていると聞きました。その時は、なかなか面白そうですね、機会があれば、という感じで話をしました」

その後、由起子・オンリーさんの写真教室の受講を始めた。当時の様子をオンリーさんは「ご主人から借りたカメラを手にし、パワースイッチ以外はカメラについているボタンやダイヤルがなんのためにあるのか、どこをさわればどうなるのかわからずにお口お口されていたのを思い出します」と話す。

これがきっかけで、則子さんは写真を撮る楽しさを感じ、写真学校での勉強を始める等、写真の世界にどんだのめり込んでいった。「写真を通じて色んな人との出会いもありました。また、それに伴って自分の周りのコミュニティーが広がりました。辛かった事というのはあまりないです。ただ、進んでいくにしたがって「難しさ」は出てきます。例えば、もっとあ



則子さんの作品

あすればよかった、こうすれば自分の伝えたい事を伝えられたのではないか、という自分なりの反省点。また、自分の習得の遅さ

にがっかりするといった事です」

「多分二年目が過ぎた頃からだったと思いますが、なんとなく彼女の撮る写真にキャラクターが出て来たのに気がつくようになりました。テクニカルな面でもまだ未熟であっても、内容が面白くなってきたのです。彼女は、とくにキレイな写真を撮るのが目的ではないのがはっきりして、どちらかというと普通、人が目を向けられないような物や状況に興味がおありのようで、私には興味深かったです」とオンリーさん。



則子さんの作品

今回の写真展ではバンクーバーや日本で撮影した作品が中心に展示される予定。また、デジタルカメラ作品に加えて、最近始められたフィルムカメラでの作品も展示される。「サブジェクトとしては普段の生活の中の人や景色を撮ったものが多いです。写真はプリントやウェブ等の展示の手段がいろいろありますが、実際に見て頂くということがとても大切だと思っています。今回は先輩のジェス・リードさんと一緒に展示できることもとてもありがたく思っています」

今後、写真を撮り始めようと思っている人にアドバイスを、と伺ったところ、年齢や、知識の有無ではなく、写真に対する情熱が重要だと則子さんは語った。「誰でも最初はゼロからスタートされています。少しでも興味があるようでしたらすぐにでも始めてみて下さい。面白さがわかるとドンドン先に進みます」

「私の写真はまだ始まったばかりですし、いろいろな事を吸収して自分のスタイルを持った写真を撮れるようになりたいです。また、写真を通してできるだけ幅広いコミュニティーに関わっていきたいと思っています。」と言い、さらなるステップアップを目標に掲げている。

今回、展覧会のキュレーターを務めるオンリーさんも「この時期に作品を一般に公開することにより、彼女が新たな自信を持ち、それが次のレベルへのステップとなる可能性がある」と察し、私はお勧めさせて頂きました」と話す。

少しでも興味があったら、思い切って飛び込んでみる。一度楽しさを覚えたなら、さらに勉強。「慣れ」にあぐらをかくことなく、いろいろな事に取り込み、積極的に行動を重ねる。そんな彼女が写真で伝えたいメッセージとは。

「カナダに移住して、はや20年が経ちましたが、今でも異文化の国での生活を通じて壁に直面する事が時折あります。写真を通して、そういった異文化間のギャップを埋めることができれば、そして、そういった写真を撮ってあげたいと思っています」

(記事提供 由起子・オンリー&山本一穂)

## Noriko Tidball & Jesse Read 2 X Lens

会期：2014年5月10日(土)～5月15日(木)

オープニング・ナイト：5月9日(金)6時～9時

開場時間：12時～6時

開場：Visual Space (2075 Alberta Street, Vancouver, カナダライン Olympic Village 駅より徒歩5分)  
604-739-0429 / visualspace.ca

## 則子・ティッドボール プロフィール

和歌山県出身。1990年に日本企業で働いていたカナダ人のご主人の帰国に伴いカナダに移住。バンクーバーの日本法人で勤務の後、由起子・オンリーさんの写真教室やFocal Point (バンクーバー写真学校)にてクラスを受講。ケリスデール地区のウェブマガジン「Kerrisdale Playbook」の製作に関わると同時に、日系コミュニティーのイベント等にて撮影ボランティア活動にも取り組んでいる。norikonasutidball.com



則子・ティッドボールさん (撮影 由起子・オンリー)